

◆英語運用能力について

	TOEFL (iBT及びComplete PracticeTest)	英検	GTEC for STUDENTS
AAA	受験者40名以上かつ上位30名平均72以上	準1級以上30名以上	上位30名の平均が1190以上
AA	受験者40名以上かつ上位30名平均42以上72未満	2級以上30名以上	上位30名の平均が960以上1190未満
A	受験者40名以上かつ上位30名平均42未満	評価せず	評価せず
B	受験者40名以下かつ平均42以上	評価せず	評価せず
C	上記基準に達せず	評価せず	評価せず

資料5

学校	独自取組		外部検定試験					TOEFLに係る評価	英語検定	その他	評価
	主な取組	取組詳細	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者(最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者(最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL合計人数(iBT, ITP, Junior, Complete Practice Test) (iBT, Complete Practice Test上位30名平均)	その他				
北野	①英語による講演 ②半年間の留学生受け入れにより様々な交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native 教員による独自教材の作成と活用	裏面記載	⑤海外でのフィールドワークの実施(シアトル研修、台湾研修)→コロナのため中止 ⑥グローバルリーダー養成英語集中セミナー(5日間集中、プレテスト・ポストテスト)の実施 ⑦即興型英語ディベート実践	1級1名 準1級10名 2級15名 準2級3名 (55名)		iBT 1名	1名				C
豊中	①ディベート・チーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④大阪大学留学生交流	裏面記載	⑤国内留学プログラム ⑥シンキングストラテジープログラム	準1級9名 2級55名 準2級52名 (133名)					AA		AA
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ ⑤Beyond_1プログラムの実施	裏面記載		1級1名 準1級20名 2級59名 準2級7名 (97名)	公開 1名	iBT 1名 Junior 1名	2名	TEAP 1名	AA		AA
大手前	①Gリーダーシップ研修(14名) ②Gコミュニケーション研修(18名) ③フィリピン語学研修(23名) ④台湾オンライン交流(23名)	裏面記載	⑤台湾第一女子高校(3月20名) ⑥ディベート体験会(4名)	準1級3名 2級29名 準2級3名					AA		AA
四條畷	①授業内でのパフォーマンステストや英文暗唱大会など実施。	裏面記載		2級3名 準2級3名 (22名)				GTEC Advanced 1059名 (最高1208、平均908.3)		AA	AA
高津	①GTEC	裏面記載						GTEC Advanced 699名 (最高1202、平均933)		AA	AA
天王寺	①TOEFL Junior の1・2年生全員受験	裏面記載		1級1名 準1級9名 2級13名 準2級1名 (58名)		Junior 699名(最高900、平均764)	699名	IELTS 3名			C
生野	①2年生全員の英検受験 ②SSH探究Ⅱ成果発表会で英語オーラル発表	裏面記載		2級86名 (263名)					AA		AA
三国丘	①SGH事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③外部試験の受験 ④海外研修の実施	裏面記載	⑤海外高校生との交流 ⑥英語による課題研究発表	準1級1名 2級78名 準2級5名 (95名)				ケンブリッジ英語検定 1名 TOEIC L&R 2名	AA		AA
岸和田	①GTECの受験 ②英検 面接指導 ③English Café	裏面記載		準1級1名 2級50名 準2級24名 (123名)				GTEC Advanced 624名 (最高1179、平均875.4)	AA	AA	AA

英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組	
	主な取組	取組概要 および コロナ対策として当初計画を変更して実施した取組
北野	<ul style="list-style-type: none"> ①英語による講演 ②半年間の留学生受け入れにより様々な交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native 教員による独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施（シアトル研修、台湾研修）→コロナのため中止 ⑥グローバルリーダー養成英語集中セミナー（5日間集中、プレテスト・ポストテスト）の実施 ⑦即興型英語ディベート実践 	<p>ICTやクロムブックを活用し、「発信型でアクティブな授業に変える」取組が充実している。民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4回、「グローバルリーダー養成英語集中セミナー」を5回実施し、生徒たちは、ネイティブスピーカーの指導のもと、様々なトピックについて英語で思考、判断、表現、討議する機会をもった。以前にSETが作成した教本（5冊）を毎年改定、活用し、4技能を総合的に鍛える授業を行った。即興型英語ディベートも1年生全体で導入し、希望者が関西大会、全国大会へと進んだ。</p> <p>海外でのフィールドワークの実施（シアトル研修、台湾研修、オーストラリア研修）が、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止せざるを得なくなり、その代替として、春休みにグローバルリーダー養成英語集中セミナーを、春休みに淡路島研修を実施し、課題研究で扱うトピックについて、海外のフィールドワークを行わずに、国内で研究、研修、考察、ディスカッション、フィールドワークを行った。</p>
豊中	<ul style="list-style-type: none"> ①ディベート・チーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④大阪大学留学生交流 ⑤国内留学プログラム ⑥シンキングストラテジープログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生の希望者を対象に月・木の放課後、即興型ディベートの練習を行った。 ②1年生全員を対象に即興型英語ディベート体験を行った。 ③全学年の希望者を対象に土曜講習の中でリスニングを行った。 ④1年生全員を対象に大阪大学から21名の留学生とオンラインで交流を行った。 ⑤1・2年生の希望者38名を対象に国内留学プログラムを行った。 ⑥1・2年生の希望者16名を対象にシンキングストラテジープログラムを行った。 <p>英語で交流する企画については、対面で行うことが困難な場合はオンラインで行うよう計画を変更した。</p>
茨木	<ul style="list-style-type: none"> ①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ ⑤Beyond_iプログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健の授業でのディベートの経験を土台にして、2年「英語表現」の授業にて、「日本の高校の部活動は教員ではなく専門の指導者によって監督されるべき」「日本の高校は学生寮を導入するべき」などのテーマでディベートを実施。論理的思考を育成する。 ②大阪大学の留学生とオンラインでディスカッションを行う。1年生全員が参加。 ③冬休み2日間ネイティブ講師による少人数英語漬けプログラムであり、参加者全員がプレゼンテーションを行う。1年生80人が参加。 ④令和2年12月中旬より3年7月までメキシコからの留学生を受け入れた。 ⑤春休み4日間、日本の大学に在籍している留学生とSDGs 諸問題についてディスカッションを行う。 <p>②大阪大学留学生との交流は当初例年通り留学生60人を招き本校生5人程度に対し留学生1～2人という小グループでのディスカッションを予定していたが、対面での交流が困難な状況であったため、各教室を留学生とオンラインでつなぎ、ディスカッションを行った。留学生約30人が参加。</p> <p>⑤例年実施してきた海外修学旅行について、令和3年度は行き先を国内としたため、海外との交流の機会を少しでも増やすために、昨年度に引き続いて「Beyond_i プログラム」を企画・実施した。</p>
大手前	<ul style="list-style-type: none"> ①Gリーダーシップ研修（14人） ②Gコミュニケーション研修（18人） ③フィリピン語学研修（23人） ④台湾オンライン交流（23人） ⑤台湾第一女子高校（3月20人） ⑥ディベート体験会（4人） 	<p>CEFR A2相当の独自仕様CEFR-O（大手前）による英語能力の確保</p>
四條畷	<ul style="list-style-type: none"> ①授業内でのパフォーマンステストや英文暗唱大会など実施。 	<p>授業内で音読テストの実施やプレゼンテーションの発表を行ったり、暗唱大会を開催したりした。</p>
高津	<ul style="list-style-type: none"> ①GTEC 	<p>GTECを校内実施し、1・2年生の英語4技能の到達度を図る</p>
天王寺	<ul style="list-style-type: none"> ①TOEFL Junior の1・2年生全員受験 	<p>高校入学時に英検2級を取得している生徒が令和元年から増加し、令和3年入学生では1級・準1級・2級保持者が合わせて240名となった。そんな中、「英検2級を取得したのちは、英語の勉強をしていない」という生徒の発言があった。そのため、入学時・高校での英語学習が進んだ2年生後期にTOEFL Juniorを受験し、そのスコアで英語運用能力を測ることとした。</p>
生野	<ul style="list-style-type: none"> ①2年生全員の英検受験 ②SSH探究Ⅱ成果発表会で英語オーラル発表 ③native教員による独自教材作成と活用 ④即興型英語ディベート実践 ⑤校内短期海外留学（5日間） ⑥韓国高校生との英語による国際交流 ⑦native教員に英検面接添削指導 ⑧IKUNO English Sinema 	<ul style="list-style-type: none"> ①2年修了時に英検2級取得者6割を目標とする。 ②広く発信するという観点から英語での発表を推奨している。 ③1年生全員英語でのロールプレイングプレゼンテーションを実施。 ④他県やGLHS校の高校生と即興型英語ディベートで対戦。 ⑤1・2年生30名が海外からの留学生との交流事業を体験。 ⑥1・2年生30名が韓国泳業高校の生徒と英語による国際交流を体験。 ⑦英検取得に向けてnative教員が個別指導を実施。 ⑧毎週火曜日と木曜日の昼休みにイングリッシュルームでNETが吹替・字幕なしの海外映画を上映し生徒たちが鑑賞した。
三国丘	<ul style="list-style-type: none"> ① SGH事業の実施 ② 4技能統合型授業の実施 ③ 外部試験の受験 ④ 海外研修の実施 ⑤ 海外高校生との交流 ⑥ 英語による課題研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ① 米国リーハイ大学での研修に向けた英語での研修を3回実施 ② 1・2年生全員に4技能統合型の授業を週2コマ実施 ③ 学校全体に外部試験を積極的に受験するよう指導 ④ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ⑥ 全国高校生フォーラムにて生徒投票賞を受賞 <ul style="list-style-type: none"> ① 米国リーハイ大学への海外研修をオンラインで実施 ② フィリピンへの海外研修を中止し、①に統合 ③ 米国NASAツアーの参加予定者に3回の研修を実施 ④ 令和4年度米国NASAツアー参加予定者に対し、事前研修を令和4年3月に3回実施 ⑤ 令和4年3月オーストラリア海外語学研修を中止し、オンライン英検対策講座として実施
岸和田	<ul style="list-style-type: none"> ①GTECの受験 ②英検 面接指導 ③English Café 	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生全員がGTEC4技能型を受験 ②英検受験者を対象に個別に面接試験指導を行った。（準1級～準2級） ③ネイティブ講師による話す力強化のための講座。希望者対象に年15回実施。 <p>海外研修が実施できなかったため、一昨年度同様、歴史街道推進協議会とタイアップし、日本の大学で学んでいる大学生と岸和田城周辺の歴史的建造物を中心にオリエンテーリングをし、それらをまとめて発信するという「日本文化体感プログラム」を実施し、数名の生徒たちが参加し、好評を得た。コロナ以前に修学旅行等で交流していた本校の姉妹校である「台湾景美女子高級中学」とのオンライン交流を実施した。</p>